

聖路加国際大学大学院看護学ニューロサイエンス看護学
10周年記念セミナー(日本ニューロサイエンス看護学会後援)

2024年6月29日(土)日本ニューロサイエンス看護学会後援のもと聖路加国際大学大学院看護学ニューロサイエンス看護学10周年記念セミナーを下記のとおり開催する運びとなりました。

本セミナーでは、厚生労働省が推進するACPの意義(本質)について、厚生労働省の推進活動に長年携わってこられた紅谷浩之先生からご講演お願いしております。

紅谷先生は在宅訪問医としても活動され、地域で疾患を抱える人々のACP支援に積極的に取り組んでいます。

本講演を通じて、「真の支援」についての理解を深めることができると考えます。

先のセミナーで明らかになった脳神経疾患を持つ人々へのACP支援の課題を解決するために、対象者と真の関わりを築く方法を学ぶことは非常に重要です。

平素より本会さらに、真の関わりを築くためには、国民のACPに関するレディネスを把握することも必要です。

加えて、脳神経疾患看護を専門に実践する看護師2名が、急性期と回復期の立場から脳神経疾患をもつ人の意向を尊重した看護支援について話していただきます。

実践を通して脳神経疾患をもつ人への真の支援とは何か・ACP支援における具体策について皆さんとのディスカッションを通して少しでも明確化できればと考えています。

【テーマ】「ACPの本質を理解し、脳神経疾患をもつ人への真の支援を考える」

【日程】2024年6月29日(土)

【時間】13:00~16:00

【方法】オンラインセミナー(ZOOM)

【対象】看護師・医療関係者・一般市民など

(本テーマに興味のある方ならどなたでも可)

【内容】講演Ⅰ 我が国がACPを推進するようになったのはなぜか

疾患をもって地域で生活する人のACP支援の実際

ACP愛称選定委員会選定委員

オレンジホームケアクリニック代表 紅谷 浩之先生

講演Ⅱ 脳神経疾患患者の意向にもとづいた看護の実際

～急性期の立場から～

※ 現在交渉中(決定次第ご連絡します)

講演Ⅲ 脳神経疾患患者の意向にもとづいた看護の実際

～回復期の立場から～

JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

鹿教湯病院

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 太田 浩和先生